● 指導計画

〈 「山・海・島」体験活動を生かす学習プログラム 〉

事前	１日目	２日目	３日目	４日目	事後
Ｃ－（13） 公正・公平 偏らない心 「消えたマイケル」 Ｃ－（16） 集団生活の充実 自分の役割を果たす 「おもちゃのシンフォニー」		起床・洗面・清掃 朝食・朝のつどい	起床・洗面・清掃 朝食・朝のつどい	起床・洗面・清掃 朝食・朝のつどい	Ｂ－（10） 友情・信頼 男女の協力 「言葉のおくり物」 Ｂ－（11） 相互理解・寛容 相手の立場 「すれちがい」
	入所式 **アイスブレイク**	（晴）**スコアＯＬ** ※鬼ヶ島コース （荒）**屋内スポーツ**	（晴）**カッター研修** （荒）**レクレーション** **クライミングウォール**	焼き板作り	
	昼食	昼食	昼食	昼食	
	アイスブレイク **カプラ**	**野外炊事**	**イニシアチブゲーム** **野外炊事**	奉仕作業 退所式	
	夕食 入浴	夕食（野外炊事） 入浴	夕食（野外炊事） **キャンプファイヤー**		
	班旗づくり **スタンツ練習** 就寝（ロッジ）	（晴）**ナイトハイク** （荒）**スタンツ練習** 就寝（ロッジ）	入浴 就寝（ロッジ）		

※赤字の活動は，児童の関わり合いを意識した活動

〈 道徳科の一例 〉

○主題名 相手の立場 【Ｂ－（１１）相互理解・寛容】

○ねらい よし子とえり子が，それぞれ嫌な思いをしている状況に共感させるとともに，相手にも事情があったことに気付かせ，その時の気持ちを考え，伝え合うことを通して，謙虚な心をもち，広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を養う。

○教材名 「すれちがい」［出典：「５年生の道徳」（文溪堂）］

○学習指導過程

段階	学習活動	主な発問（○主な発問 ◎中心発問 ）		○指導上の留意点 （・評価の観点／方法）
導入	１ 宿泊体験活動の一幕を振り返る。	○宿泊体験活動で活用した，班旗のデザイン（配色）をどのように決めましたか？ ○話し合う中でうまくいかないことやなかなか決まらないことって，たくさんありましたよね。そんな時，みんなは，どんな気持ちだったのかな。		○宿泊体験活動を振り返ることで，学習への意欲付けや，教材や価値への方向付けとなる。
展開前段	２ 教材「すれちがい」を読んで話し合う。	＜よし子の教材を読む＞ ○主な登場人物は？ ○二人の関係は？ ○お話の最後，相手のことをどう思っていますか？	＜えり子の教材を読む＞ ○主な登場人物は？ ○二人の関係は？ ○お話の最後，相手のことをどう思っていますか？	○主人公の気持ちになり考えさせる。 ＜個人思考＞ ○自分の考えをノートに書く。 ＜グループ協議＞ ○お互いの教材を交換して読み合い，相手の事情を知らせる ○グループ交流の後，全体交流をする。 （発言・ノートへの記述）
		○自分がそれぞれの立場だったらどう思いますか。		
展開後段	３ 自分たちの生活を振り返る。	○それぞれの事情が分かって，どう思いましたか。 ◎それぞれに足りなったことは何だろう。 ○最初に話した，宿泊体験活動での自分たちに足りなかったことは何だったのだろう。 ○他にも，今までに同じようなことはありませんでしたか。		○自分の経験と比べ，振り返らせる。
終末	４ 本時の学びを振り返る。	○今日の学習で学んだことや感じたこと，これから心がけたいことは何ですか。		○本時の学習がこれからの生活へつながるようにする。